

かほく市図書館 友の会だより

発行日 2017年11月25日

発行者 かほく市図書館友の会

〒929-1173 かほく市遠塚口57-6 かほく市立中央図書館内

第17号



かほく市生涯学習フェスティバル 図書館まつり

第4回 わくわく紙しばいカーニバル

10月28日、図書館まつり1日目の10時、今年も「わくわく紙しばいカーニバル」が始まりました。当日はあいにくの雨。図書館の中も人影はまばらで、子どもの声はあまり聞こえてきません。「誰もこなかったらどうしよう。」と思ったところに、まずは親子が1組。その後も、出入りしながら子どもと大人の方、併せて27名ほどで今年の紙しばいカーニバルを楽しみました。

手あそびでは、お母さんが子どもの手をとって一緒にしてみたり、静かにじっと紙芝居を見つめる子どもがいたり、それぞれが自分のやり方で楽しんでいました。気が付けば、演じている方もいつの間にか紙芝居の世界に入り込み、あっという間の1時間でした。

絵本とはまた違う紙芝居の世界を、皆さんもぜひ一度体験してみてください。



子どもも大人も一緒に手あそび♪

プログラム

♪～もも、すいか、りんご、なし、パイナップル～♪

1. どんなあじ？

2. ばんぼこぼん

♪～ にんじやのつくりかた ～♪

3. まんまるまんまたんたかたん

4. たこちゃんたこちゃん

♪～ やまにはごろごろ ～♪

5. かめのえんそく

6. さるとうさぎとがまがえる

7. 子そだてゆうれい

8. かおりちゃんのマフラー

9. てんぐとかつぱとかみなりどん



紙芝居の世界に引き込まれます

友の会の歩みパネル展示

「図書館まつり」の機会に“図書館友の会”を多くの市民のみなさんに知っていただきたいと、『友の会の歩み』と題して、友の会の行事写真（説明付き）と友の会だよりを掲示しました。

古本市

10月28日（土）・10月29日（日）の2日間にわたり、図書館主催の古本市に友の会として協力しました。



友の会で開催した行事をパネルで紹介しました

第6回 図書館見学会 9月28日(木)

全国レベルで貸し出し数の多い

「能美市立図書館」(根上・寺井の2館)へ!!



図書館の中田さんに運転もお願いして、総勢26名で図書館見学会へ行ってきました。能美市立図書館は、根上図書館、寺井図書館のほかに辰口図書館がありますが、時間の都合で、残念ながら2館にしました。予察では辰口図書館へも行っています。能美市立図書館は、5万人未満の市や区の中で、過去に貸し出し数全国1位、2位に輝いています。

先に「根上図書館」その後「寺井図書館」を訪れました。建設されたのは、寺井、辰口、根上の順で、新しい根上図書館は広さも十分にとってあります。とはいうものの他の2館も大きく、旧三町それぞれに図書館があるのがすばらしいと感じました。

また「3館連携し、地域に根ざした生き活きとした図書館をめざす」というスローガンの元、地域の持ち味を生かした蔵書にしているとのことでした。

- 根上図書館：ビジネス書：近くに大きな企業が多い。
- 寺井図書館：美術資料：九谷焼の中心地、隣に九谷陶芸館がある。
- 辰口図書館：郷土資料：近くの能美市立博物館との連携

寺井では13万円もするという立派な美術書を手に取って見て、感激しました。

貸し出し数が多くなる秘密の一つに「テーマ展示」があるのではないかと感じました。職員全員が替わりあって受け持ち、工夫を凝らした展示を心がけていらっしゃる様子。あちこちにミニコーナーが設けられ、急ぎの時はコーナーを回るだけで数冊借りることができそうで

した。児童の「ひょうしに5にんいじょうにんげんがいるえほん」、大人の「食べ物が出てくる小説・エッセイ」のコーナーから借りたくなりました。

職員の方や館長さんに丁寧に説明・案内していただき、感謝でいっぱいです。

見学の後は、「二兎：にと」でランチ。食後のコーヒータイムを活用してOさんの創作紙芝居の鑑賞、「九谷陶芸村」で九谷焼資料館・浅蔵五十吉美術館の見学、バス内でかほく市消費生活グループ「ひだまり」にも属しているらっしゃる会員から悪徳商法にだまされない話をお聞きする等、時間も有効に使いました。



工夫を凝らした
テーマ展示



■参加者の声

松村 千恵さん

あいにくの雨の中、会員25名バスに乗り込みいざ能美市へ出発…。

両図書館とも書架が整然と分類され、洗練された空間作り。本の展示もわかりやすく見つけやすく、知らず知らずに本を手にとっていました。借りたい本がすぐ見つかる図書館！！でした。

どちらの図書館も年々貸し出し数が減少しているとのこと、どうにかして図書館に足を運んでもらい、貸し出し数が増えるように…と、様々な工夫や催し物など考



広々とした根上図書館

えているというお話でした。かほく市は図書館友の会が
あって羨ましい、友の会は図書館の応援団ですよ…とい
う言葉が印象的でした。

昼食後九谷焼資料館へ。草創期の古九谷から現代に至
る全時代の作品を収蔵してあって、歴史の移り変わりを
鑑賞してきました。

今回初めて参加しましたが、充実した楽しい時間を過
ごせました。お世話して下さいました方、運転して下さい
ました中田さん、ありがとうございました。次回も是非参加
したいです。バスを降りる時は雨も上がり、その足で中央
図書館で本を借りて帰りました。



おはなしのへやで説明を聞くみなさん

第11回 友の会の集い 8月6日(日) 参加者33名

- ①「南ドイツの旅報告～写真紙芝居と昔ばなし～」(講演)
- ②「おすすめのこの1冊 part3」(交流)

第一部は、かほくおはなしボランティア“やまんば”
の鈴木晶子さんに、2016年7月「昔ばなし大学研修
旅行」として訪れた南ドイツの旅の様子を、手作り写真
紙芝居でお話しいただきました。

ご自身で撮影された思い出の旅写真と、紙芝居ならで
はのゆったりとした語りで聴く旅行談は、新鮮な感覚で
あり、南ドイツの各地で見て聞いて感じた驚きと発見の
異文化が、生き生きと伝わりました。

初めての海外旅行で触れた貴重な経験によって、日本
での生活を広い視野で楽しみたいと感じたそうです。

旅報告の後は、ろうそくを灯した小さなおはなし会で
す。ドイツの神秘的な黒い森をイメージしながら、鈴木
さんが語る「三匹のやぎのがらがらどん」(絵本)、「おい
しいおかゆ」(グリム童話)に聞き入りました。



いきいきと語る鈴木さん

第二部では、参加者による交流会「おすすめのこの1
冊」です。最初に図書館の小村さんから、そして事前に
寄せられた「紹介したい本」の一覧から以下の本が紹介
されました。

分野は様々で、女性戦士、明治の農民生活、郷土の先
人、謎めいた世界、また偶然にもドイツに関する話題が
続くなど話がふくらみました。

- 『樹木たちの知られざる生活』(ハーター・ヴォルヘルツ)
- 『戦争は女の顔をしていない』(スグエトラ・アルクトゥエーグイ)
- 『土』(長塚 節) 『百花香』(奥野良雄)
- 『未完の女性哲学者 高橋ふみ』(浅見 洋)
- 『日本のこころの教育』(境野勝悟)
- 『きつねのはなし』(森見登美彦)

■参加者の声

杉本 静子さん

明治 34 年、河北郡七塚村(現・かほく市)木津にて誕
生。大正 3 年金沢第 1 高女、大正 9 年東京女子大、大
正 15 年東北帝大、昭和 11 年ドイツ留学。

戦前、しかも女性が、哲学という学問を究めようと一
心に突き進み、駆け抜け、昭和 20 年 6 月、木津で逝去
されました。戦後をなんとかして生きていただきたか
ったです。そうすれば、すばらしい哲学の世界に到達され
ただろうと思うと残念です。

あの大戦に突入する直前のドイツに、3 年半も滞在さ
れたのです。何を感じ、何を体験されたのでしょうか。今
回の南ドイツのお話会につなげて考えてみたかったの
です。

(「未完の女性哲学者高橋ふみ」浅見洋著から)

友の会 談話室

元かほく市立中央図書館長 赤井 恭子さん

私は、中央図書館の児童図書コーナーの配架が大好きでした。どの本が人気があるのか興味をもって配架していました。読みたい本を見つけたら、座り込んで一冊読み終えることがよくありました。児童図書コーナーは、円形なので、外から見えないとてもいい場所です。教科書に出てくる著者の本には、特に興味がわきました。

その中にアーノルド＝ローベルの「お手紙」があります。かえるくん、がまくんの友情が描かれていて、何度読んでも、心があたたかくなるお話です。

最近、私は、「お手紙」を学習する小学2年生と出会いました。子どもたちは「二人で、ずっとお手紙を待っているところが一番好きです」と言います。子どもたちにとっても、心に残る作品だといえます。「お手紙」の並行

読書として「おはなし」「なくしたボタン」「アイスクリーム」が選ばれていました。「おはなし」を読んだ子は『きみ、ひどく顔が青いよ』と言ってあついお茶を一ぱい飲んでやりました」が心に残ると言い、「なくしたボタン」では、「とおってきたみちをのこらずあるいてさがしました」が心に残ると言います。それぞれの作品の良さをしっかり捉えていると思います。

子どもたちには、これからも心を打つ作品、心を動かす作品をずっと読み継いでいって欲しいと思います。そのため、学校と図書館がますます手を取り合っていくことを願っています。

1年の「たぬきの糸車」、2年の「お手紙」、3年の「ちいちゃんのかけおくり」、4年の「ごんぎつね」、5年の「大造じいさんとがん」、6年の「やまなし」、これらは教科書の中にあって、これからもずっと読み継がれていくことでしょう。

友の会活動予定

● リサイクル本収集

今後ともご寄付をよろしくお願いします!

かほく市立中央図書館 階段下のリサイクル本入れで常時受け付けております。

● 応援ボランティア

やってみたいと思う方はボランティアルームまでおこしてください。

【開催日時】

■ 第1・3・5週 14:00～15:30

12月 5日(火)、12月 19日(火)
1月 16日(火)、1月 30日(火)
2月 6日(火)、2月 20日(火)
3月 6日(火)、3月 20日(火)

■ 第2・4週 10:00～11:30

12月 12日(火)、12月 26日(火)
1月 23日(火)
2月 27日(火)
3月 13日(火)、3月 27日(火)

【作業内容】本の書架整理、汚れ落とし、修理などを行います。

● 古本朝市

【開催日時】2018年2月25日(日)

【会場】かほく市立中央図書館 2階

● 友の会の集い

2018年2月4日(日) 13:30～
詳細ははがきでお知らせします。



編集後記

友がみなわれよりえらく見ゆる日よ/花を買ひ来て/妻としたしむ という石川啄木の短歌が好きです。啄木の、友がみんなえらく見えて、さみしく、うらやましく感じているだろう心を思うと胸が詰まります。私も同じように思うことがあるから(啄木と一緒にとは僭越ですが)。その後、啄木が家に帰って妻と会話する情景に、心がホッとします。この啄木が書いている繊細な描写にとっても共感ができて好きなのです。さて、今年もあと1ヶ月ちょっとです。立冬も過ぎ、どんどん寒くなっていきますね。みなさまもどうぞ体調にはお気をつけください。会報の原稿にご協力をいただいた皆様ありがとうございました。来年も、ある日突然、原稿依頼のお願いをするかもしれませんが、その時には、何卒よろしくお願ひいたします。

会報部会 新田

現在の会員数 129名

入会のお申し込みは、中央図書館サービスカウンターにて随時受け付けております。